

インフォコム株式会社

2016年3月期 決算説明会

2016年4月28日



Net Business

Healthcare

GRANDIT

平成28年熊本地震により被災された皆様に心から
お見舞いを申し上げます

被災地の一日も早い復旧復興をお祈り申し上げます

インフォコム株式会社

代表取締役社長 竹 原 教 博

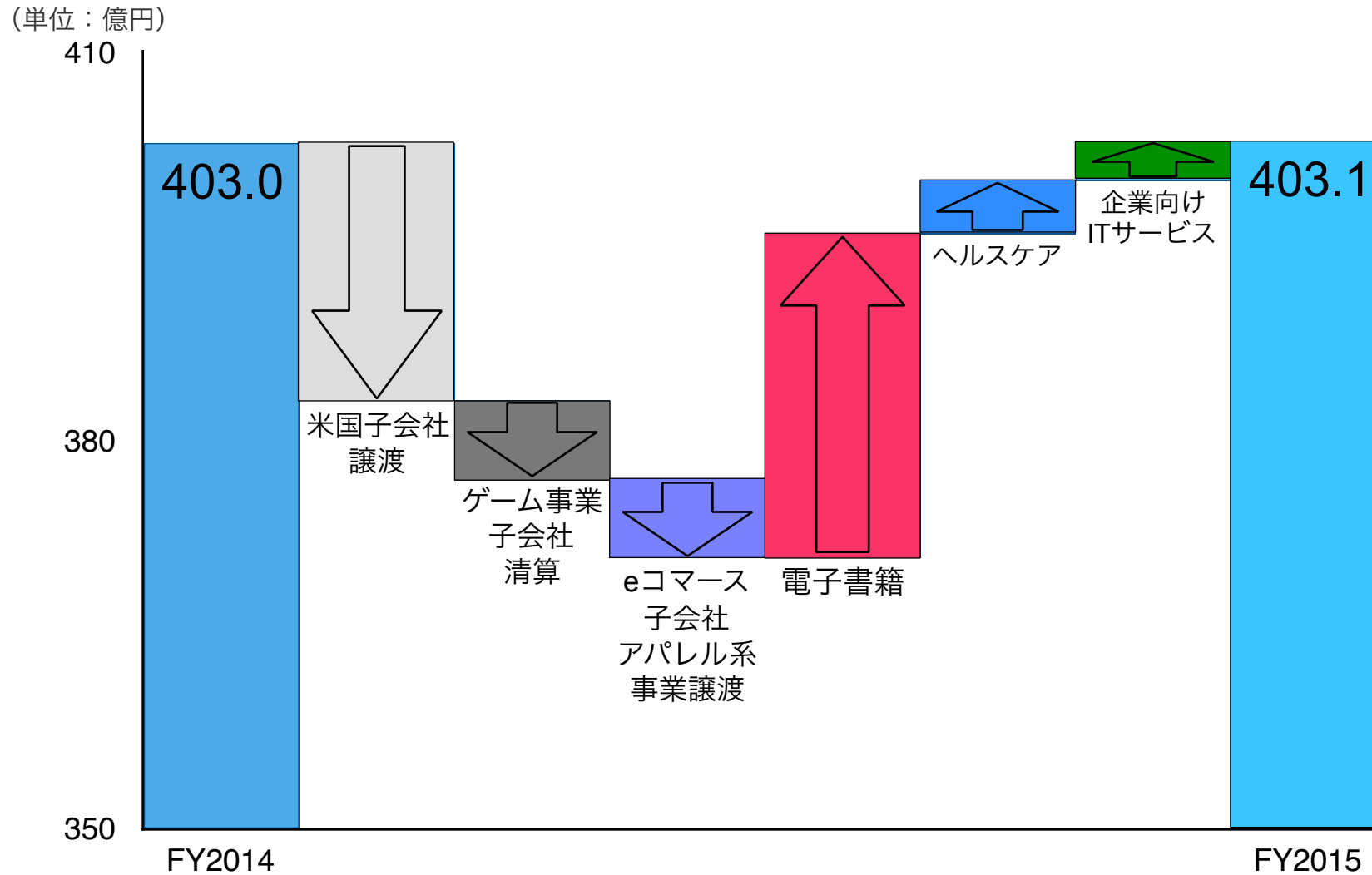
1. 2016年3月期 決算
2. 2017年3月期 業績予想
3. 2017年3月期の取り組み

1. 2016年3月期 決算

(単位：億円、%)	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	403.0	403.1	+0.1	+0.0
営業利益 (営業利益率)	36.0 (8.9)	44.2 (11.0)	+8.2	+22.8
経常利益	36.9	45.5	+8.6	+23.5
親会社株主に 帰属する 当期純利益	21.7	7.2	△14.4	△66.5
1株当たり 当期純利益 (円)	79.43	26.64	△52.79	△66.5
ROE (%)	10.9	3.5	△7.4	

- ◆事業構造改革の推進に加え電子書籍とヘルスケア事業が順調に推移した結果、営業利益および経常利益は増益（上場来最高）一方、データセンター関連の事業構造改革費用等27.1億円を特別損失に計上した結果、当期純利益は減益

売上高前期比較



ITサービス・セグメント

- ・ 病院向け
- ・ 製薬企業向け
- ・ 健康系

**ヘルスケア
事業**

サービスビジネス
事業

- ・ **ERP GRANDIT®**
- ・ 緊急連絡/安否確認
- ・ 文書管理 その他

- ・ 繊維メーカー向け
- ・ 総合商社向け
- ・ 医薬品卸向け
- ・ 携帯電話会社向け

エンタープライズ
事業

**ネットビジネス
事業**

- ・ 電子書籍
- ・ eコマース
- ・ コンテンツ配信
女性向け、音楽系

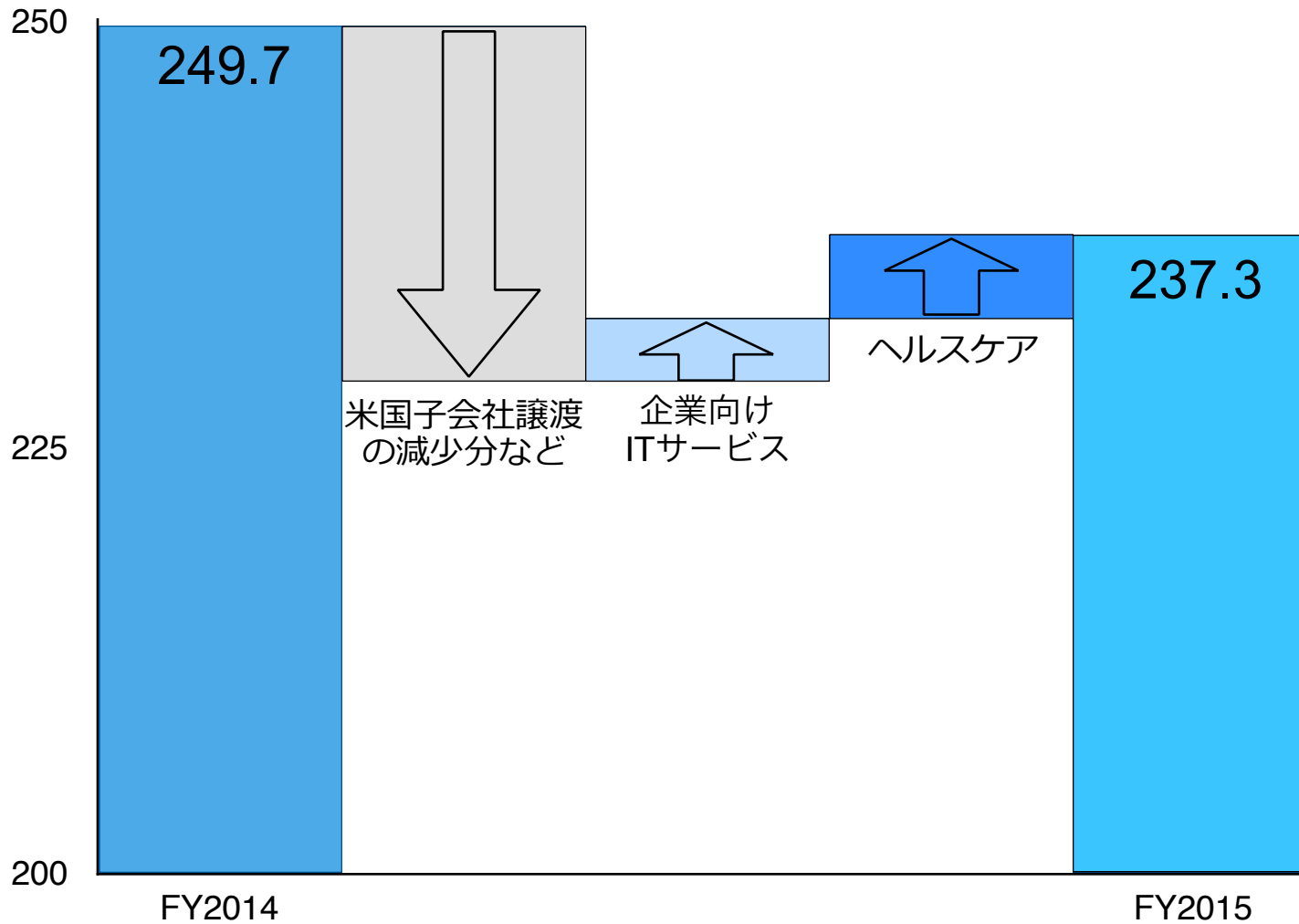
ネットビジネス・セグメント

(注) 太字が中期経営計画の
重点事業

(単位：億円、%)	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	249.7	237.3	△12.3	△4.9
営業利益 (営業利益率)	23.9 (9.6)	24.7 (10.4)	+0.7	+3.0

- ◆売上高：前期に譲渡した子会社の売上高減少が影響
一方、重点領域のヘルスケア事業は増収
- ◆営業利益：新事業の先行投資による影響を吸収し
ヘルスケア事業の増収と売上構成差により増益

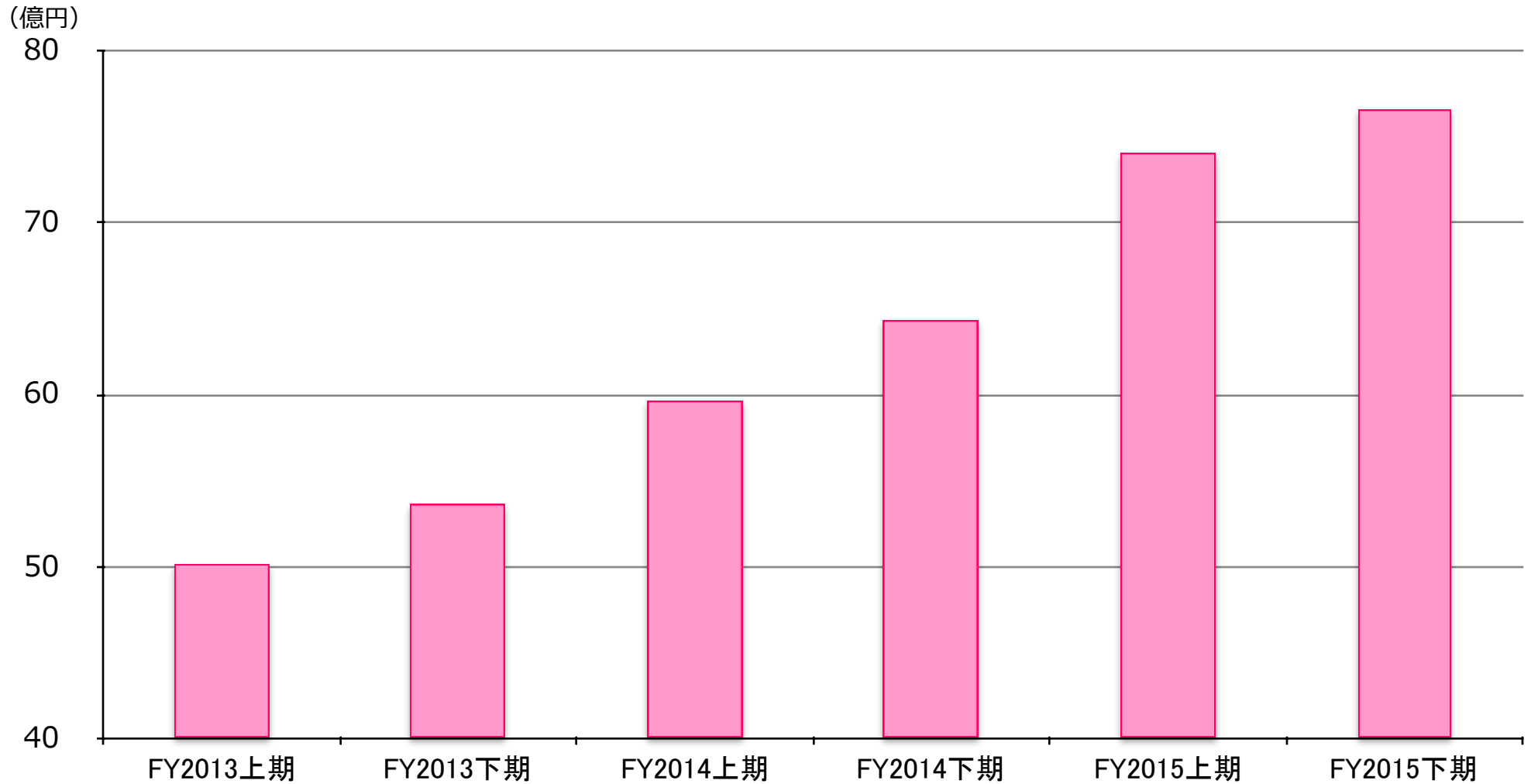
(単位：億円)



(単位：億円、%)	2015年3月期	2016年3月期	前年同期比	
	金額	金額	増減額	増減率
売上高	153.3	165.7	+12.4	+8.1
電子書籍売上高	123.9	150.7	+26.8	+21.6
営業利益	12.0	19.5	+7.4	+62.0
(営業利益率)	(7.9)	(11.8)		

- ◆売上高：電子書籍配信サービスは前年比20%以上成長し150億円を超え、ソーシャルゲーム事業等の減少した売上を吸収
- ◆営業利益：電子書籍配信サービスの売上高伸長およびソーシャルゲーム事業等の見直しの効果が発現

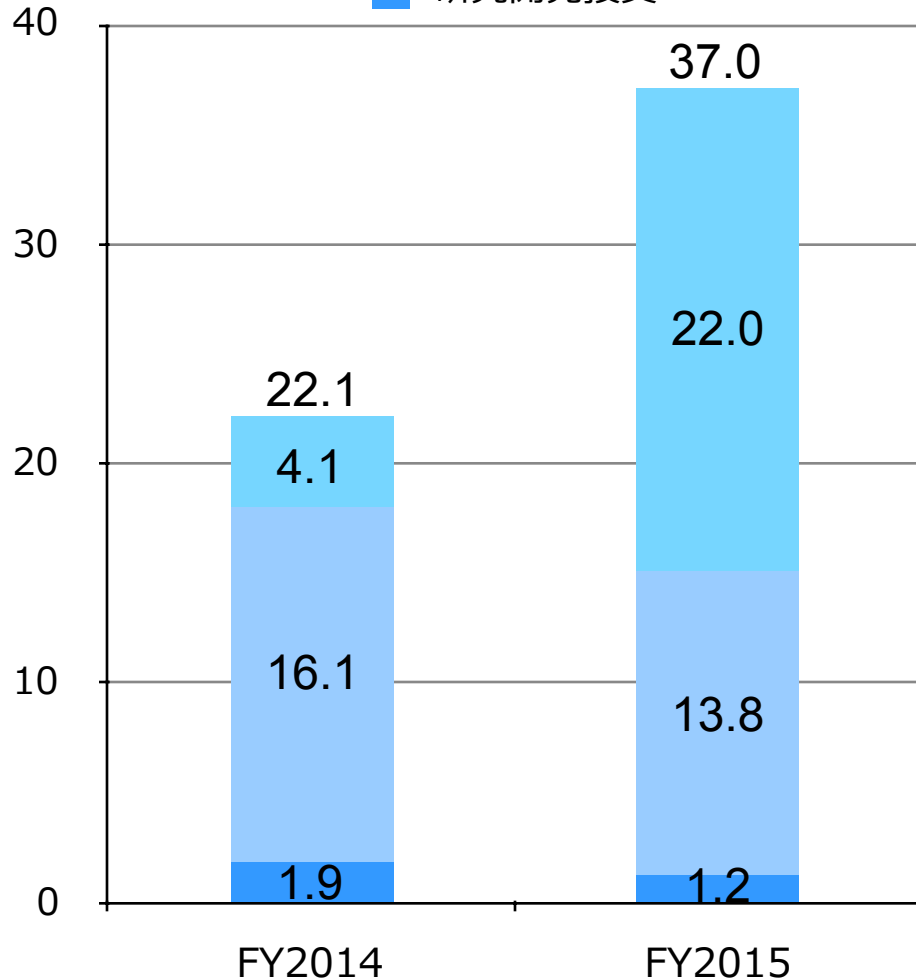
売上高



投資実績

- 資本投資
- 設備投資
- 研究開発投資

(単位：億円)

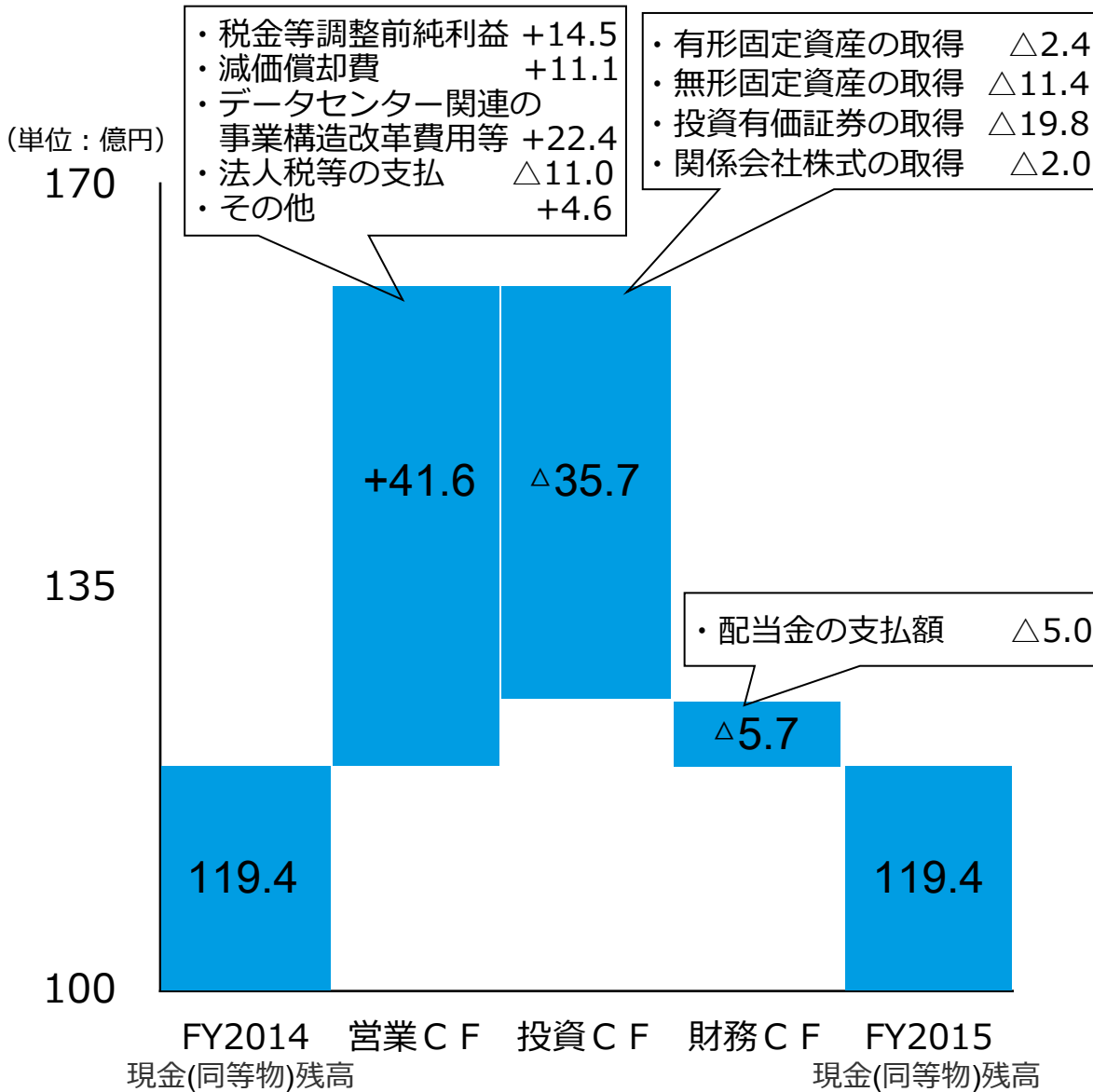


	主な内容	(億円)
資本投資	IoTプラットフォーム企業 介護事業系企業 東南アジアIT企業 など	22.0
設備投資	電子書籍配信サービス	13.8
	病院向けシステム	
	GRANDIT	
	緊急連絡/安否確認システム	
	その他	
研究開発投資	新技術開発（全社研究）	1.2
	その他	

貸借対照表 (連結)

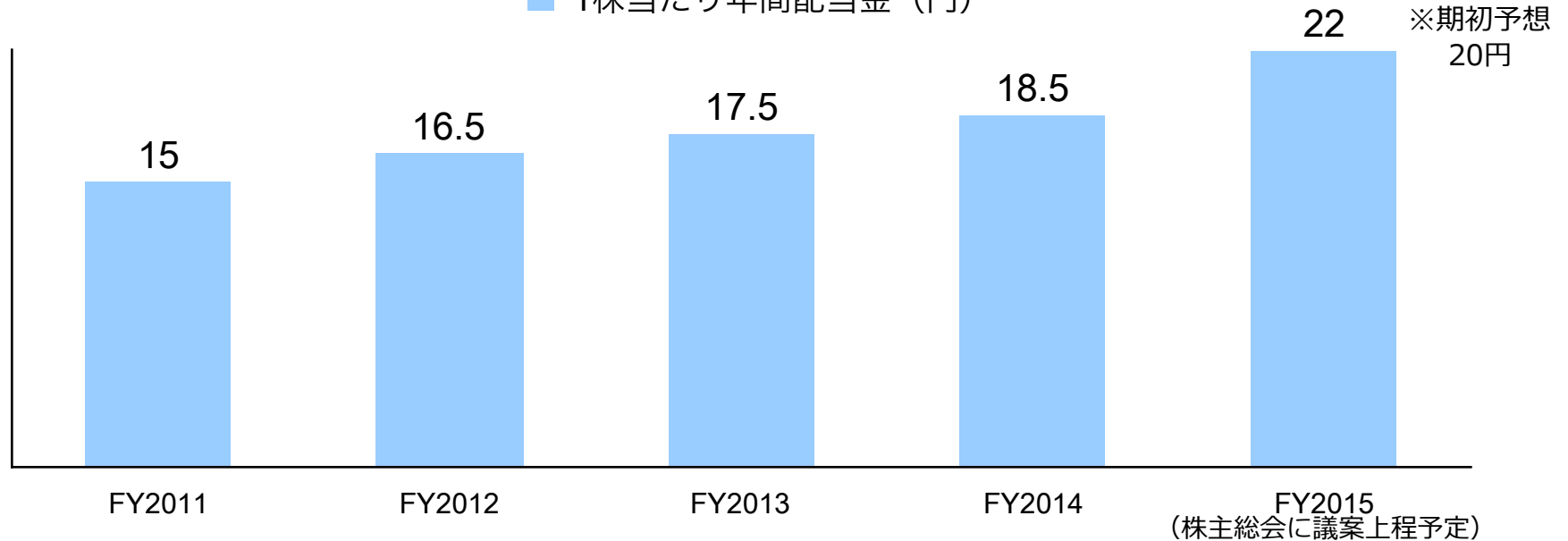
(単位：億円、%)	2015年3月期末		2016年3月期末			主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	
流動資産	218.1	76.5	227.5	72.0	+9.4	<ul style="list-style-type: none"> ・受取手形及び売掛金 +5.5 ・繰延税金資産 +2.6
固定資産	67.1	23.5	88.6	28.0	+21.5	<ul style="list-style-type: none"> ・投資有価証券 +19.7
資産合計	285.2	100.0	316.1	100.0	+30.9	
流動負債	74.0	26.0	99.2	31.4	+25.2	<ul style="list-style-type: none"> ・買掛金 +6.5
固定負債	2.0	0.7	5.4	1.7	+3.4	
負債合計	76.1	26.7	104.7	33.1	+28.6	<ul style="list-style-type: none"> ・データセンター関連の事業構造改革費用等 +22.4
純資産合計	209.1	73.3	211.4	66.9	+2.3	<ul style="list-style-type: none"> ・利益剰余金 +2.2
負債・純資産合計	285.2	100.0	316.1	100.0	+30.9	
自己資本比率	73.0%		66.5%			

キャッシュフロー (連結)



(単位：億円)	2015年 3月期	2016年 3月期	増減
営業CF	34.6	41.6	+7.0
投資CF	Δ 18.3	Δ 35.7	Δ 17.4
FCF	16.3	5.9	Δ 10.4
財務CF	Δ 5.7	Δ 5.7	Δ 0.0
現金及び現金同等物に係わる換算差額等	1.3	Δ 0.1	Δ 1.4
現金及び現金同等物の増減額	11.9	Δ 0.0	Δ 11.9
現金及び現金同等物の期首残高	107.5	119.4	+11.9
現金及び現金同等物の期末残高	119.4	119.4	Δ 0.0

■ 1株当たり年間配当金（円）



1株当たり 当期純利益	FY2011	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015 (株主総会に議案上程予定)
	64円78銭	74円51銭	73円98銭	79円43銭	26円64銭

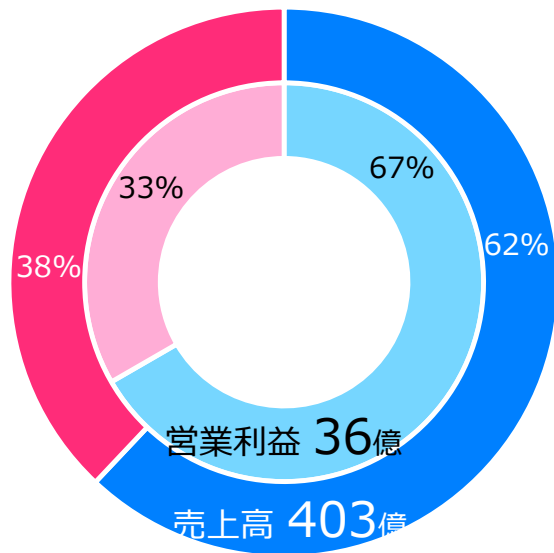
(注) 当社は、2013年10月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。
株式分割前の1株当たり年間配当金および1株当たり当期純利益は株式分割を考慮した数値に修正しております。

- ◆配 当 : 2016年3月期は3.5円の増配を予定(2015年9月29日発表済)
- ◆株主優待 : 2015年9月30日現在の株主名簿記載の1単元以上保有株主様を対象に実施

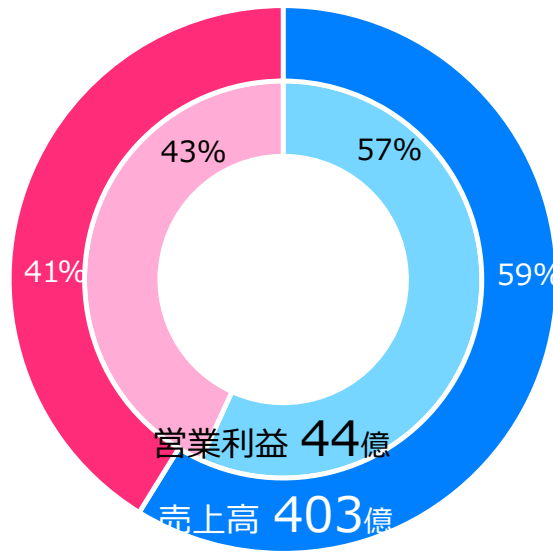
2. 2017年3月期 通期業績予想

(単位：億円、%)	2016年3月期 実績			2017年3月期 予想				
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減額 (通期)	増減率 (通期)
売上高	187.3	215.8	403.1	200.0	250.0	450.0	+46.9	+11.6
営業利益 (営業利益率)	12.0 (6.4)	32.2 (14.9)	44.2 (11.0)	12.5 (6.3)	37.5 (15.0)	50.0 (11.1)	+5.8	+12.9
経常利益	12.4	33.1	45.5	12.5	37.5	50.0	+4.5	+9.7
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△11.0	18.2	7.2	7.0	23.0	30.0	+22.8	+311.8
1株当たり 当期純利益(円)		26.64			109.72		+83.08	+311.9
ROE (%)		3.5			13.3		+9.8	

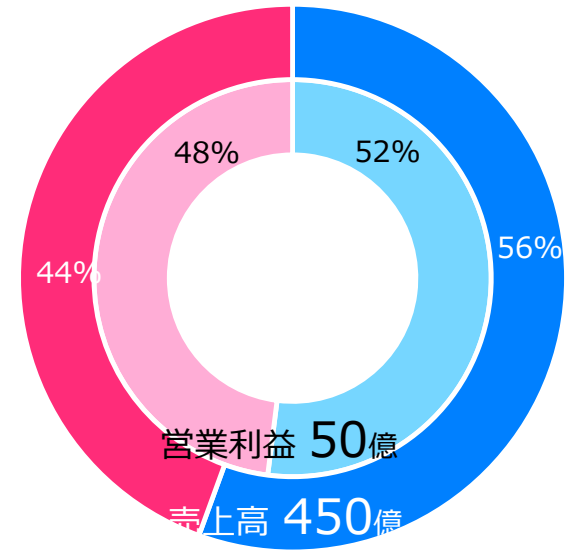
FY2014



FY2015



FY2016(予想)



■ ITサービス ■ ネットビジネス

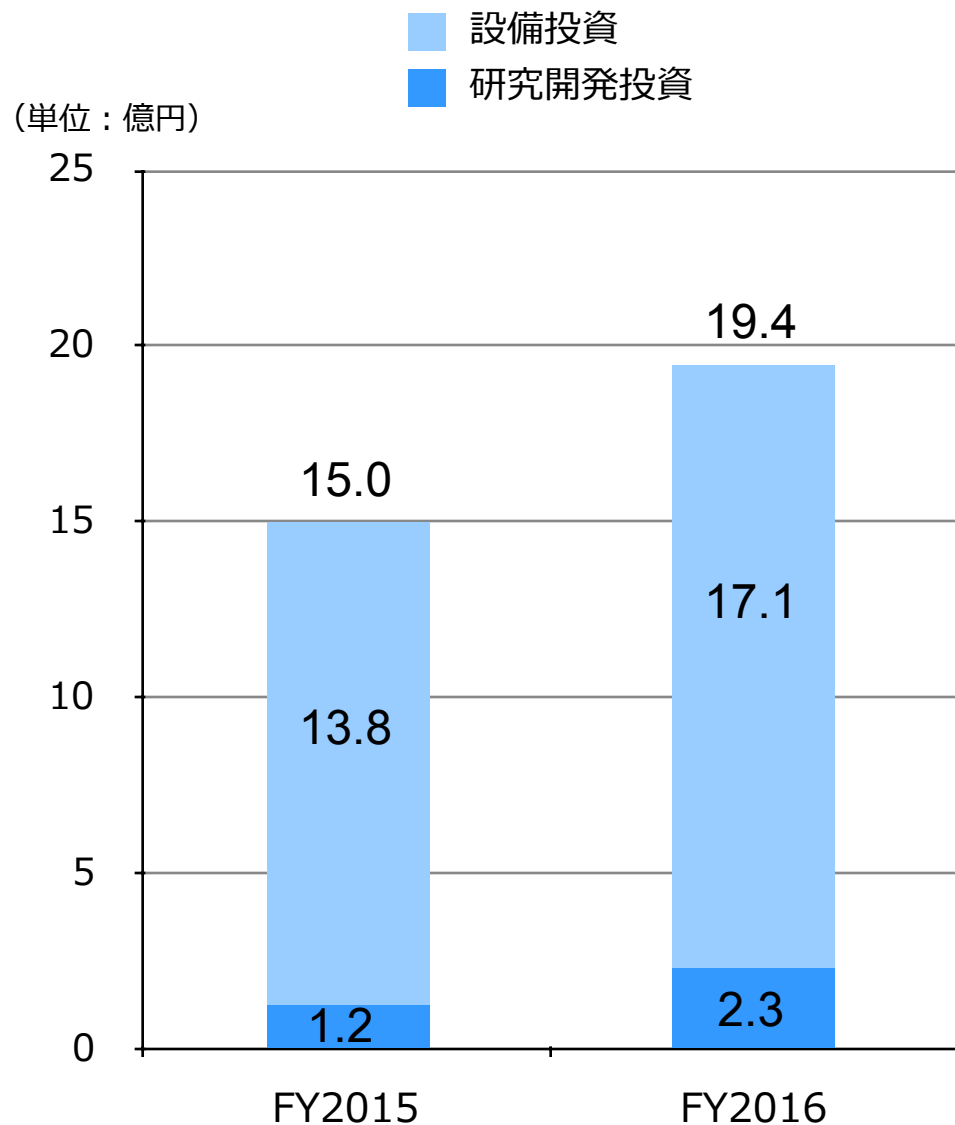
(単位：億円、%)	2016年3月期	2017年3月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	237.3	250.0	+12.7	+5.4
営業利益 (営業利益率)	24.7 (10.4)	26.0 (10.4)	+1.3	+5.3

- ◆売上高：ヘルスケアおよび企業向けSI/パッケージ販売が堅調に推移し増収
- ◆営業利益：新事業の先行投資による影響を吸収し増益

(単位：億円、%)	2016年3月期	2017年3月期 予想		
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	165.7	200.0	+34.3	+20.7
電子書籍売上高	150.7	180.0	+29.3	+19.4
営業利益	19.5	24.0	+4.5	+23.1
(営業利益率)	(11.8)	(12.0)		

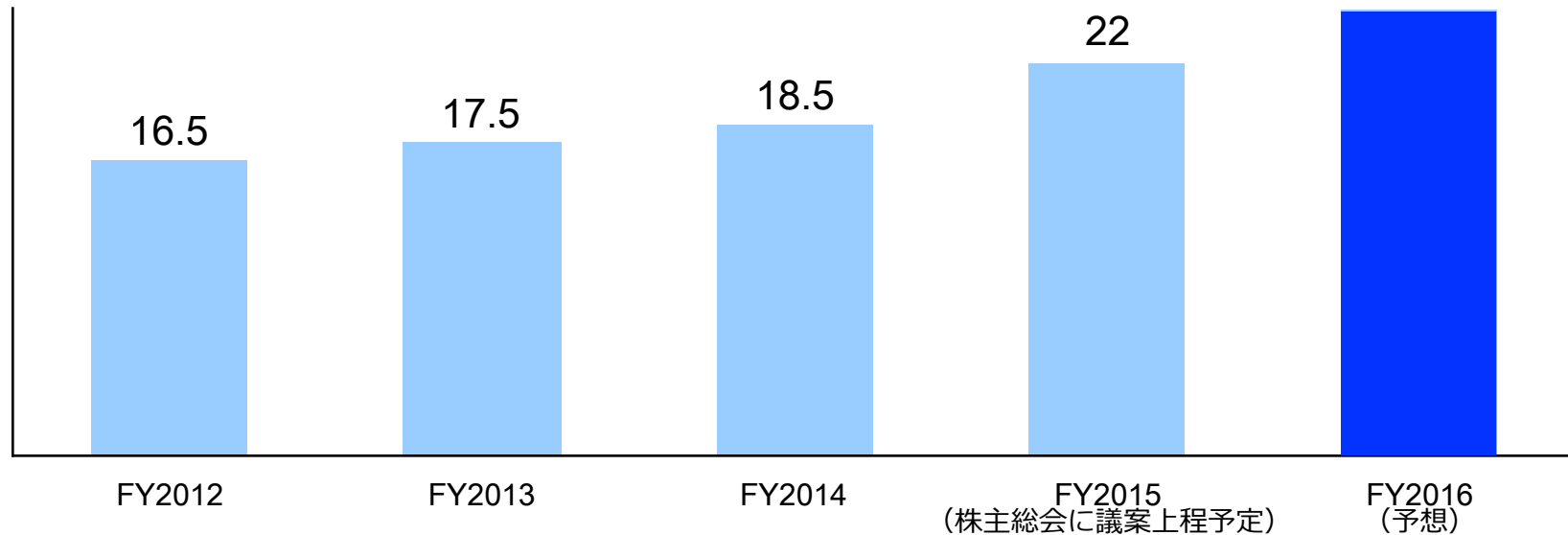
◆売上高：電子書籍配信サービスは180億円を目指す

◆営業利益：電子書籍配信サービスの事業拡大により増益



主な内容		(億円)
設備投資	電子書籍配信サービス	17.1
	病院向けシステム	
	GRANDIT	
	IoT領域	
	地域包括ケア領域	
その他		
研究開発投資	新技術開発 (全社研究)	2.3
	その他	

■ 1株当たり年間配当金（円）



1株当たり 当期純利益	FY2012	FY2013	FY2014	FY2015 (株主総会に議案上程予定)	FY2016 (予想)
	74円51銭	73円98銭	79円43銭	26円64銭	109円73銭

(注) 当社は、2013年10月1日付で、普通株式1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。
株式分割前の1株当たり年間配当金および1株当たり当期純利益は株式分割を考慮した数値に修正しております。

- ◆ 配 当 : 2017年3月期は中間配当10円、期末配当15円、合計の年間配当金を25円と予想
- ◆ 株主優待 : 2016年9月30日現在の株主名簿記載の1単元以上保有株主様を対象に実施予定

3. 2017年3月期の取り組み

ネットビジネス

- ・ 電子書籍

ヘルスケア

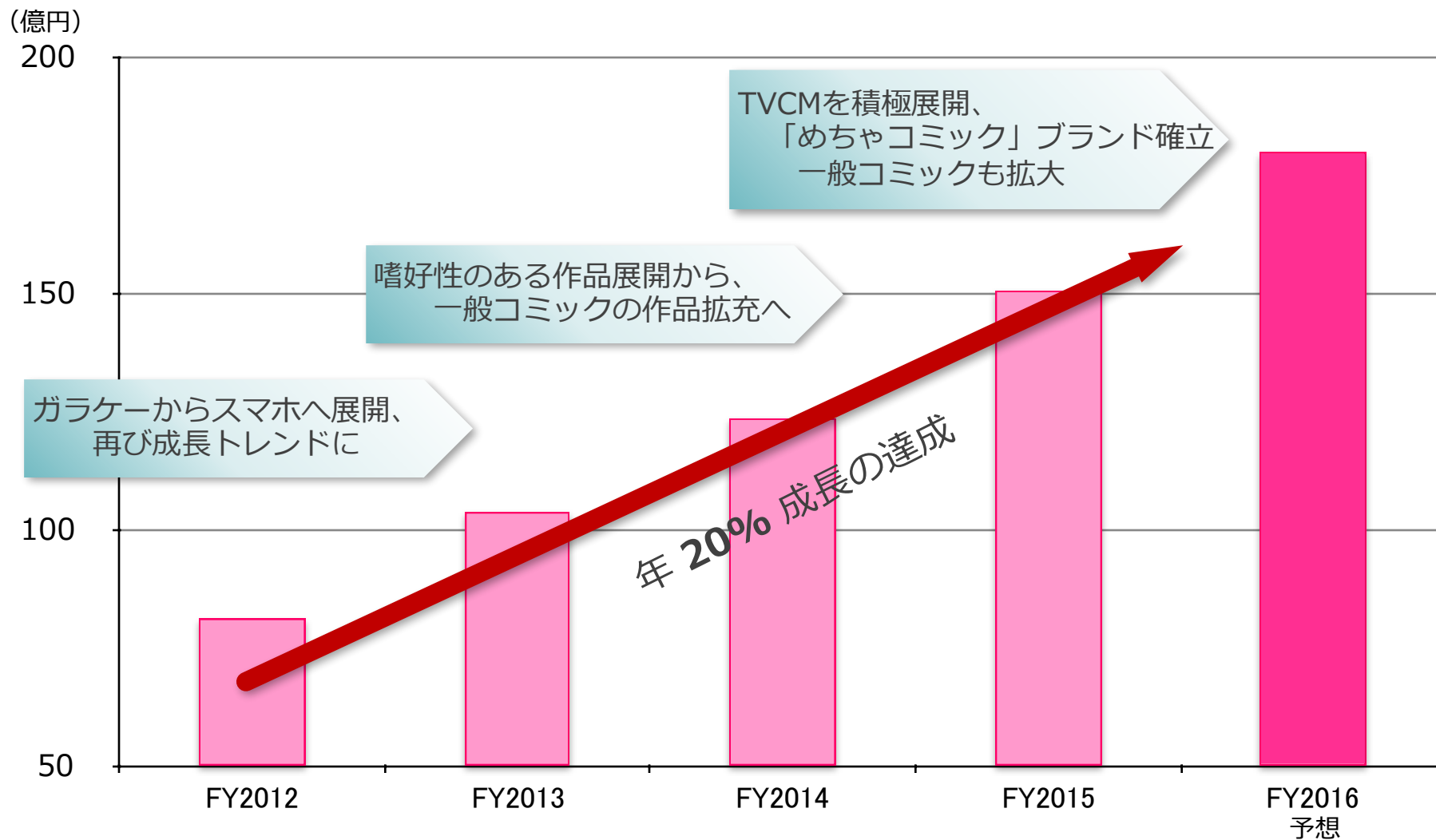
- ・ 病院向け
- ・ 製薬企業向け
- ・ 新サービス開発

GRANDIT (グランディット)

- ・ ERPパッケージ
(統合業務ソフトウェアパッケージ)

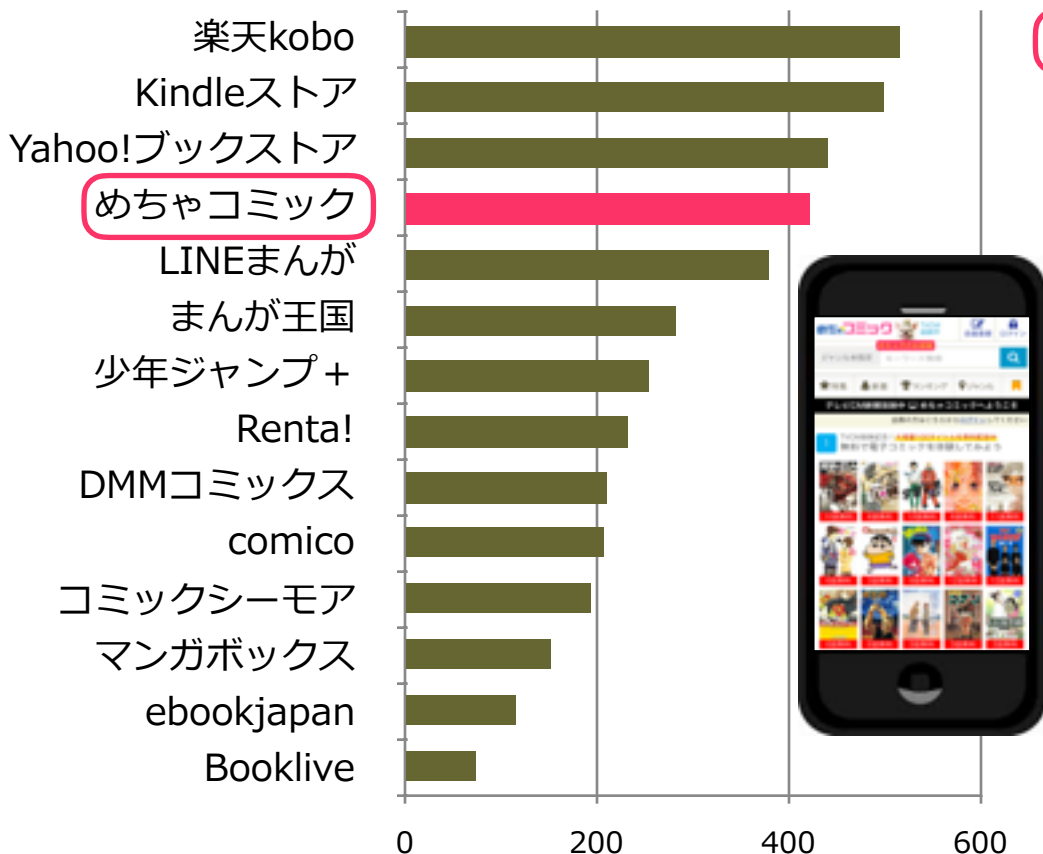
Net Business

売上高

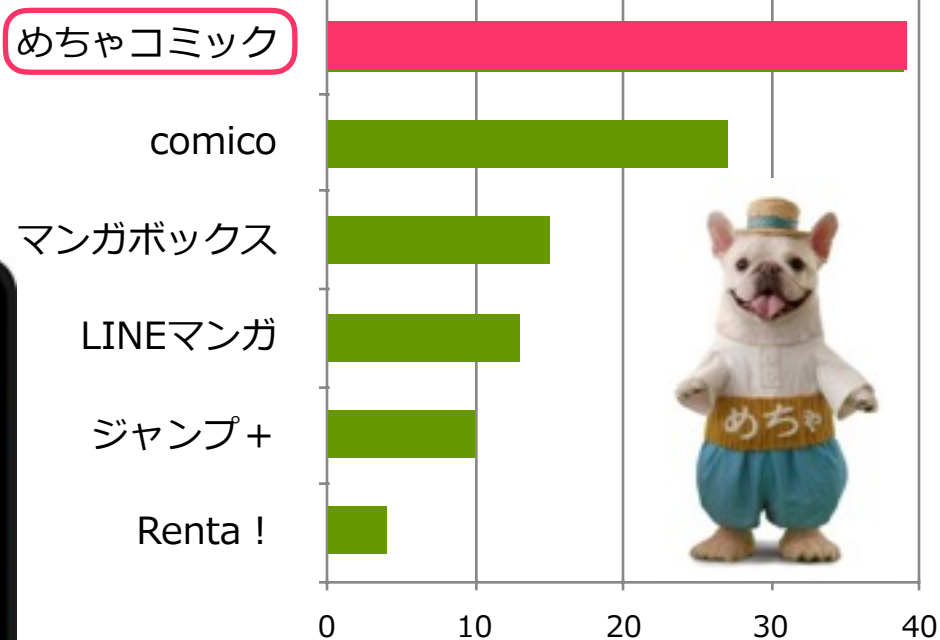


TV-CMにより、認知度・好感度はトップクラスに

サービス名認知度



CM好感度



サービス認知度：15年8月サービス名認知数比較／母数1,854

CM好感度：好きなCMの純粹想起／母数3,000

(CMデータバンク社調べ)

高い認知度を活かして、会員獲得に注力

読者層

認知

動機づけ

行動

ライト
ユーザー

+

嗜好性のある
コミックを
好む層

TV広告

- Web広告強化
- SEO対策強化
- 決済手段多様化
- ランディング
ページの改善

入会

Healthcare

◆医療ITからヘルスケアサービスへ

新事業
既存事業

事業推進コーポレートファンド
Infocom Fund
ヘルスケアIT新規事業創出プログラム
デジタルヘルスコネクト
ツール

×

IoT 技術領域 **EverySense**
ウェアラブル 帝人
ビッグデータ



睡眠総合サービス
■ Sleep Styles
アスリート向け支援サービス
■ アスリート・ストーリーズ

病院・医療機関

- 救急車映像伝送
- 手術支援 → 術中映像配信、重症病棟対応
- 看護部門管理 → 教育支援、スケジューリング
- 放射線・医用画像
- 診療情報管理
- 薬剤情報管理

■ 高速化を実現した 放射線情報システム (RIS)



■ 幅広い診療情報の 管理を実現 診療情報管理システム 「Medi-Bank」



(パソコンの画面例)

■ 高画質の映像データ を録画・配信 高画質映像アーカイブ システム 「V-Station」



→ 将来は遠隔医療に
有効活用



GRANDIT

提携
パッケージ
ソフトウェア



連結決算
パッケージ



営業支援
パッケージ



人事考課
パッケージ

アライアンスパートナー20社

提携
開発販売
パートナー

ビジネスパートナー43社



キヤノン ITソリューションズ株式会社



コンソーシアム14社



パナソニック インフォメーションシステムズ(株)



NECネットワークソリューションズ(株)

インフラ

ゼネラルパートナー3社



- ◆ 連携ソフトウェアと開発/販売パートナーの拡充
- ◆ マイナンバー対応

新たな取り組み

専任組織を設け事業創出を加速

事業創出ツール

オープンイノベーション

- スタートアッププログラム
- 米国・アジアへの事業展開
- M&A推進

- ◆ デジタルヘルスコネクト
 - ・ シニア向け医療ビジネスコンテスト
- ◆ アスリートストーリーズ
 - ・ トレーナー向けアプリ提供開始
- ◆ 海外アクセラレータプログラム

技術領域

IoT

- マーケティング・技術調査
- パートナー探索
- 一般企業向けソリューション提供

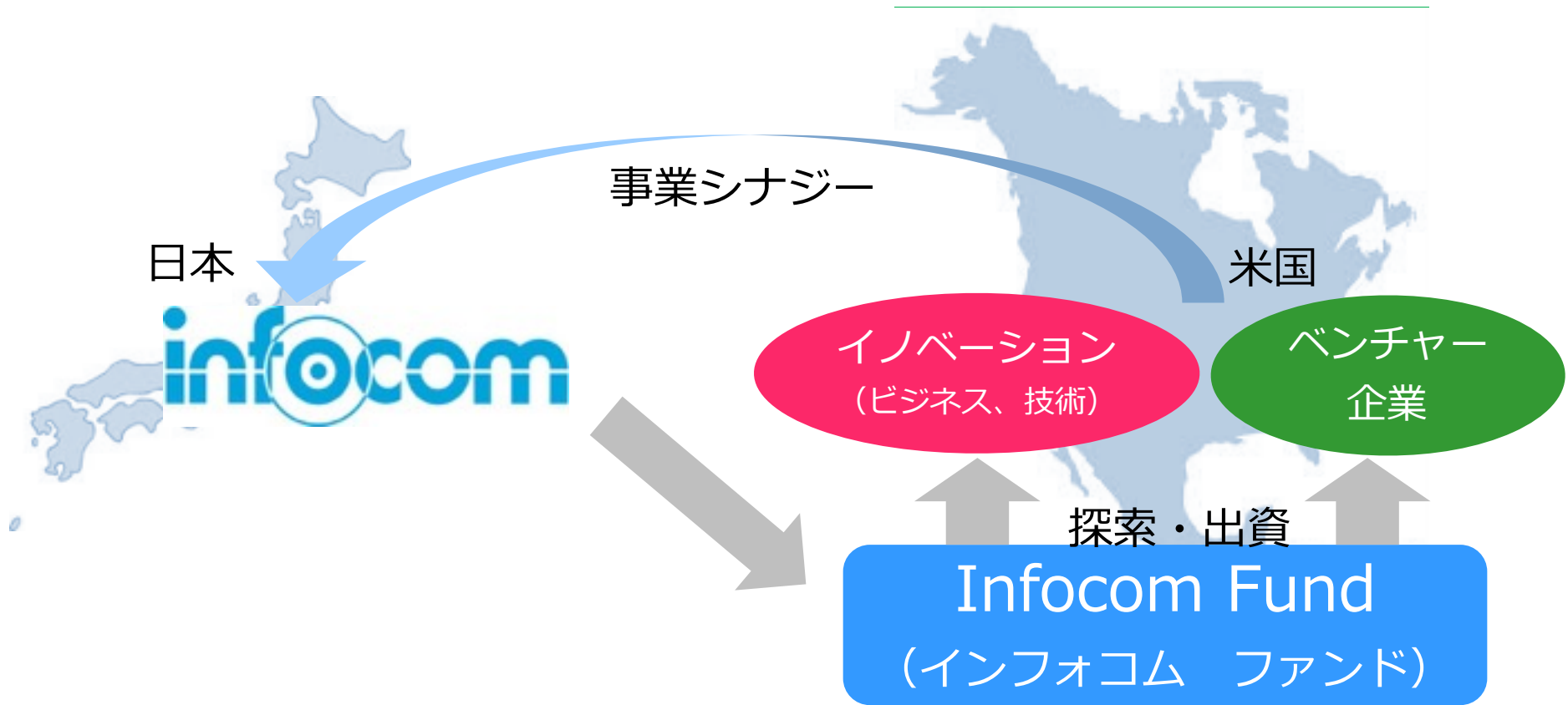
- ◆ Afero社と事業提携
- ◆ 漁業支援の共同研究開始

事業領域

地域包括ケア

- 介護サービス分野での事業企画・推進

- ◆ ソラスト社と業務提携
 - ⇒ 医療介護連携・効率化
- ◆ 施設情報検索サービス
- ◆ 地域Webコミュニティ

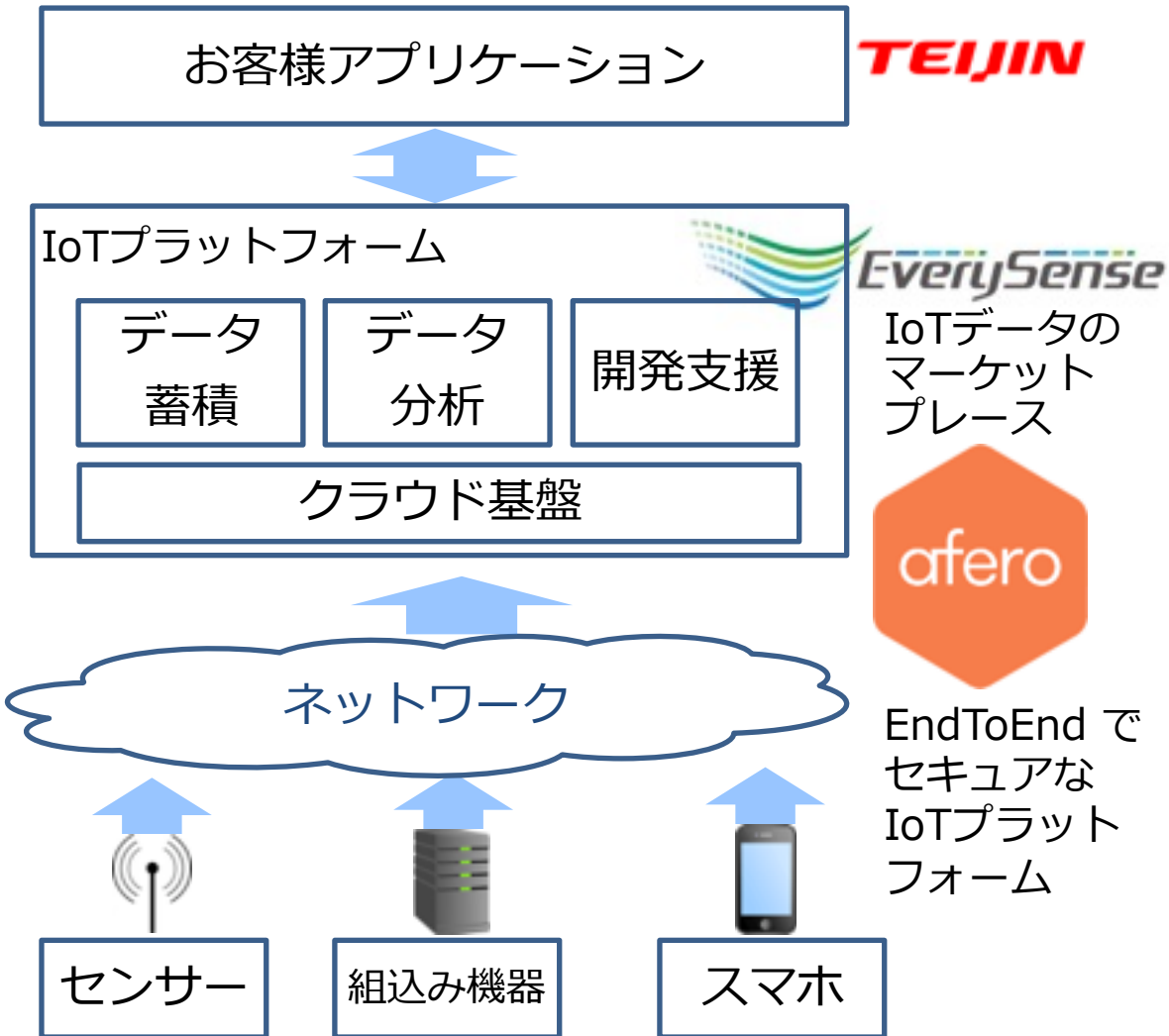


- ◆ ファンドを活用したグローバルでの新規事業化を目指す
米シリコンバレー発で、世界展開が狙える新規事業の探索・発掘と
事業領域の活性化、ファンドの総額は20億円。投資実績20社超。

- ◆ 経済成長に伴い急速にIT化が進展するインドネシアにおいて Fenox Venture Capitalと共同でスタートアップを支援する アクセラレーションプログラムを開始



プロジェクトを通じ、ニーズ&技術調査を行い、早期事業化を目指す



参画プロジェクト事例

IoT漁業支援（共同研究）

海洋情報流通プラットフォームを構築、水産業等の生産性向上を狙う

環境モニタリング実証実験

オフィス内環境データをモニタリング空調・エネルギー管理等の新規サービス創出を狙う

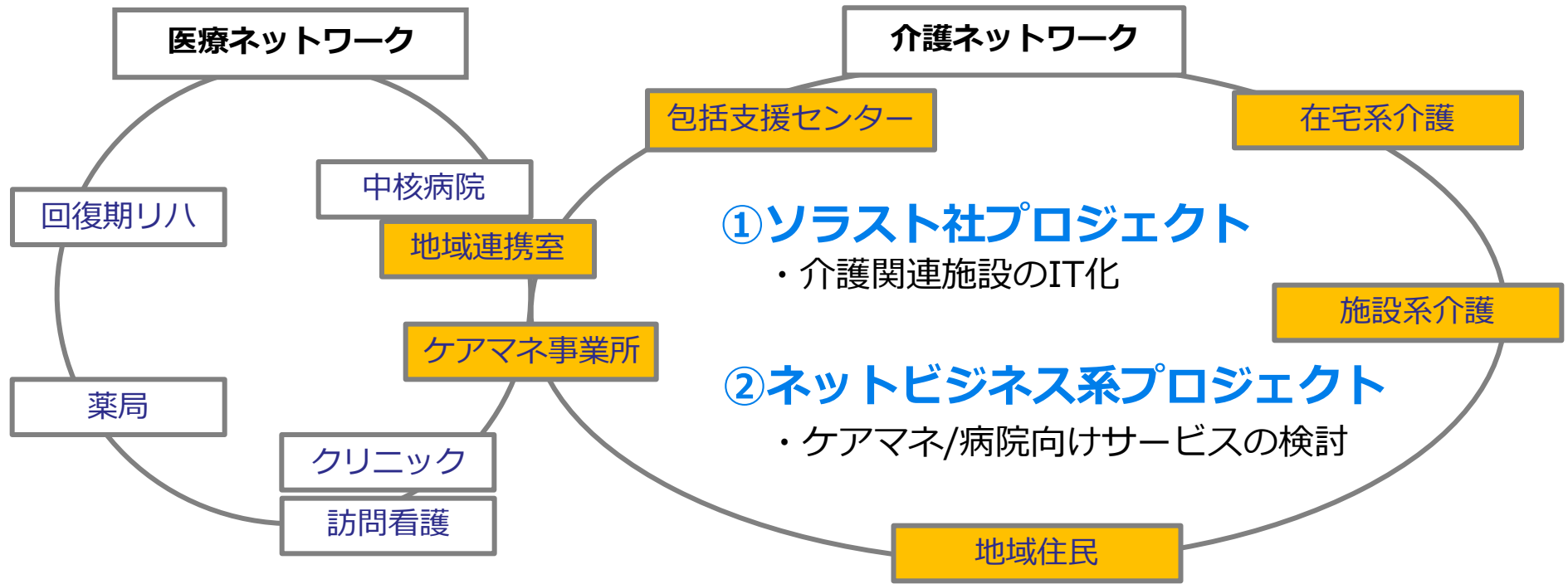
帝人との協業・支援

ウェアラブル、圧電ファブリック

災害救助活動支援

災害救助現場での生体情報モニタリング、救助員の安全管理（体温、転倒検出等）を狙う

新規事業創出に向けプロジェクトを推進



TEIJIN 連携

(参考) 株式会社ソラストの概要と提携目的

従業員数：24,406名 (15年3月時点) / 売上高：601億円 (14年度実績)

医療



事業内容

- 二チイ学館に次いで**業界2位**
- 医療事務派遣は**全国45拠点**
- **診療情報管理士を500人超**

介護



- 大都市圏中心に**200施設超**を保有
- **医療、介護を両方**手掛けるのは、二チイ学館とソラスト社のみ

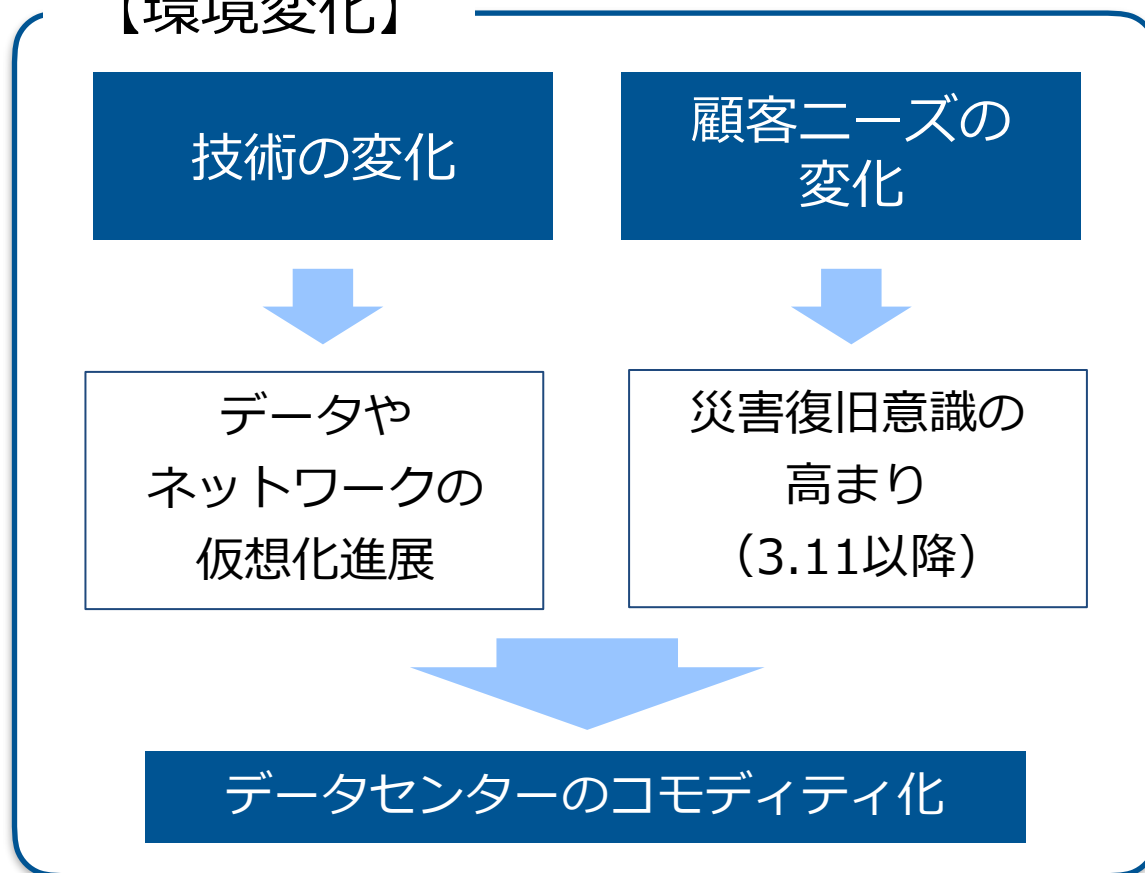
(業務提携の目的) 介護現場の課題を把握、地域包括ケア領域の事業化へ

業務提携内容

- 病院における相互営業協力
- 業務効率化に資するシステム構築
- 共同での新規サービス試行・検証

- ◆ 自社保有の新横浜データセンターを利用したサービス提供を2017年6月末を目途に終了する
- 今後は他社データセンターを利用しサービス提供を継続


【環境変化】



【一時的な負担】

- ・ 約27億円を計上 (内訳)
- 事業構造改革費用 25億円
- 減損損失 2億円

【新横浜データセンターの概要】

- ・ 所在：横浜市北部
(中心部から約7km)
- ・ 建物：データセンター専用ビル
- ・ 竣工：1993年
- ・ 構造：SRC耐震構造 
- ・ 面積：敷地面積 7,663m²
建物面積 2,863m²
延床面積13,045m²

本資料は、当社の会社説明・業績説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券に対する投資の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料には数値を億円単位で記載しているため、一部の経営指標および増減額や増減率が本資料の数値で計算した場合の解と異なる場合があります。

本資料は一部を除き2016年3月31日現在のデータに基づいて作成しています。

本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名などは該当する各社の商標又は登録商標です。

本資料に記載された意見や予想などは資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性や完全性を保証、約束するものではなく、また今後予告なしに変更させていただくことがあります。

問合せ先

インフォコム株式会社

広報・IR室長 田中新也

TEL : 03-6866-3160